

稲発酵粗飼料
(WCS)用稲
にも使えます!

農林水産省「稲発酵粗飼料
生産・給与技術マニュアル」
に掲載された農薬です。

ノビエに安定した効果!
長い残効性!

水稲用初・中期一発処理除草剤

農林水産省登録
第21765号

クサトリエース[®] 粒剤17

種類名：
カフェンストール・ダイムロン・
ベンスルフロンメチル 粒剤

クサトリエースは三井化学アグロ(株)の登録商標です



3キロ剤

SU抵抗性アゼナには、
早めの散布が効果的。



アゼナ



アメリカアゼナ



タケトアゼナ



三井化学
グループ

三井化学アグロ株式会社

クサトリエース® 粒剤17

■有効成分：カフェンストロール…1.0% ダイムロン…2.0% ベンシルフロメチル…0.17%

■人畜毒性：普通物※

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

特長

- ノビエに対して安定した効果を示し、残効性も長い!**
本剤に配合されたカフェンストロールはノビエに対し強力な殺草効果を示すとともに、残効性が長く、長期間(40~50日)雑草の発生を抑えます。
- 一年生雑草、多年生雑草のほとんどによく効く!**
ノビエなどの一年生雑草や主要な多年生雑草に優れた効果を発揮します。またアメリカアゼナには、移植後10日までの散布で優れた効果を発揮します。
- 水稲に対して薬害が少ない!**
本剤は、水稲と雑草間に優れた選択性を有しておりますので、稲に対して薬害が少ないです。

SU抵抗性雑草とは、スルホニルウレア系除草剤に抵抗性を獲得した雑草(アゼナ類、ホタルイ、コナギ等)のことを言います。

2019年3月10日現在

使用基準

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アル当りの使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯
移植水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヒルムシロ(北陸を除く) ヘラオモダカ(北陸) セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植後5日~ ノビエ2.5葉期 ただし、移植後 30日まで	砂壤土~埴土	3kg	1回	湛水 散布	北陸・関東・東山・東海、 九州の普通期及び早期 栽培地帯
			壤土~埴土				近畿・中国・四国の 普通期及び早期栽培地帯

カフェンストロールを含む農薬の総使用回数	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ベンシルフロメチルを含む農薬の総使用回数
1回	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、 本田では2回以内)	2回以内

使用時期

●**関東・東山・東海、
近畿・中国・四国、九州**



●**北陸**



上手な使い方

●**整地、代かきはていねいに!**



●**処理時の水深**



●**落水、かけ流し×**



注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ、ウリカワ、ヘラオモダカ、ミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生始期までが本剤の散布適期です。
- 苗の植付けが均一となるように代かきを丁寧に行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に丁寧に行ってください。
- 田植え前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水のまま田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態(水深3~5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、止水期間中の入水は静かに行ってください。
- 移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系

- で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失ないように適期に散布してください。
- 下記のような条件では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水田(減水深が2cm/日以上)
 - ②軟弱な苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
 - 梅雨期等、散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさけてください。
 - 散布後数日間著しい高温が続く場合、初期生育が抑制されることがあるが、一過性のもので次第に回復し、その後の生育に対する影響は認められません。
 - 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用の場合は、十分注意してください。
 - 散布田の水田水を他の作物に灌水しないでください。
 - 河川、湖沼、地下水等を汚染しないよう、落水、か

- け流しはしないでください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象時は、病虫害防除所等関係機関の指導を受けてください。
 - 誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の処置を受けさせてください。
 - 本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、直ちに医師の処置を受けてください。
 - 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の処置を受けてください。
 - 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - 散布後は水管理に注意してください。
 - 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ○容器・空袋などは圃場などに放置せず、適切に処理してください。 ○防除日誌を記帳しましょう。

*本製品は農業用除草剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2019年3月10日現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。